

ど の し た 淵

【10年に一度の寒波襲来】

1月24日から25日明け方にかけてこの冬一番の寒波が襲来し、あたり一面銀世界になりました。幸い25日中には生活に支障のない程度に雪は解けましたが、皆さまの周囲で被害はなかったでしょうか？
温暖化とはいえないほど雪降りますね。南国の風景とは思えないほどの景色でした。これもまたいとつきづきしかな。



発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

090-1089-9432

令和5年2月1日発行



【公民会無線復旧】

年末年始にかけて、公民会放送が聞こえないという連絡がありました。放送回数も少なかったのかもしれませんが、最近になって数件まとまって報告があったので、無線業者（エリアートーク）に連絡し、点検をしていただいたところ、アンテナ、送信機（親機）に不具合が発生していました。

年末の落雷による過剰通電が原因であろうとのこと、取り換え修繕を余儀なくされました。農協やアイライフ（自治会活動保険）に保険適用について問い合わせてみましたが、適用されないようですので、財政調整及び施設改修基金より支払います。6万程度です。

JAの説明では、放送設備のトラブルへの備えとして、共栄火災保険に加入している公民会もあるとの事でした。（保険料670円／年）5年度では考慮したほうが良いかもしれませんね。総会で協議しましょう。



たかね寺小屋く持続可能な地域社会づくり

【SDGs推進宣言】深掘りNo.1

さつま町SDGs推進宣言による本町の推進項目・取組内容について深掘りします。

I 人と地球環境にやさしいまち

❖ 地球温暖化対策への取組による脱炭素社会の構築

❖ ゼロカーボン・ドライブ※1の普及と基盤整備

❖ ごみ減量化や3R運動の推進による循環型社会の構築

❖ 食品ロスを意識づけ、フードドライブやフードバンク※2などの取組を支援

II 再生可能エネルギーを活用した分散型エネルギー社会を実現するまち

❖ 多様な再生可能エネルギーの自給率向上

❖ 県内産木材の利用や低炭素建築物の推奨による省エネ住宅の普及促進

❖ 中小企業等の省エネ・再エネなどの脱炭素化に向けた取組の推進

※1 再生可能エネルギー100%の電力と電気自動車などを活用した走行時のCO2排出量がゼロになるドライブ

※2 企業や農家、一般家庭で余っている食品を食料品として活用している団体へ届ける活動や団体

2月19日(日)午後から宮之城文化センターで開催されます。薩摩中央高校書道部のオープニングに始まり各種表彰式後、生涯学習発表では「紫尾の山を知ろう」ほかの発表があります。

また、メイスイイベントは、菊池桃子さんの「学びで輝く人生を——すべての世代に贈りたい言葉」と題しての講演会です。

菊池さんは1984年芸能界デビュー。幅広い芸能活動と一男一女の母として子育てを両立するかたわら、2012年3月法政大学大学院政策創造専攻修士課程を修了。その後、母校である戸坂女子短期大学の客員教授としてキャリア形成論等の講義を担当しています。テレビ番組「人生の楽園」の案内人がなじみあるのではないでしょうか。

参加するには事前申込が必要です。希望される方は必要事項を私まで連絡いただくか、各戸配布のチラシや町ホームページをご覧ください。なりお手続きください。

【県下一周駅伝】

早春の訪れを告げる県下一周駅伝が20日に本町を通過します。さつま町の選手も沢山出走しています。大勢の応援が選手の力になります。感染対策・交通安全に十分注意して、みずいろ大作戦で応援しましょう。

■役場文書発送日 2・16日

■公民会役員会 5日

■初市・ささ福かざり開始 7日

■町綱引き大会
12日

■さくら公園桜植栽
19日

■町民大会（菊池桃子講演）
19日

■県下一周駅伝さつま町通過 20日

■春の火災予防週間 157日

■役場文書発送日 2・16日

■ほたるの里ジョギング大会 5日

■ 中学校卒業式
14 日

公民会総会
19日

■きさら川流域ウォーキング 21日

■小学校卒業式
23日

あくまで予定として掲載している行事もあります。詳細は決定次第連絡いたします。年度末は種々の行事が目白押しですので、前もって日程調整しましょう。

2月はまだまだ寒さも残りますが、庭の雑草の緑が濃くなり始め、何となく春の訪れを感じさせる香りに包まれます。暦の上でも立春として春が始まる日があります。「二十四節気」の最初の節気で、各季節は6つの節気で構成されており、「立春」「雨水」「啓蟄」「春分」「清明」「穀雨」によって成り立っています。立春は春の始まりであるとともに、旧暦において新しい1年が始まる日でもあります。節分との違いはというと、二十四節気には節気のほかに、季節の移り変わりの目安となる「雑節」があります。雑節は、日本の生活に基づいて生まれた日本独自の文化です。節分は「季節を分ける」という意味を持つ雑節で、「立春・立夏・立秋・立冬・の前日」を指します。本来、節分は一年に4回ありましたが、大晦日にあたる立春の前日だけに重視され、節分の日として定着しました。

昔は季節の変わり目には病気や災難が起こり、邪氣が生じると考えられたため、節分にはさまざまな邪氣払いが行われていました。節分に行う豆まきには、病気や災害を鬼に見立て、邪氣を追い払うという意味がこめられているんだってさ。伝統になぞらえ豆まきでもして

邪氣を払いきばいもそ!!

